



豊玉二中だより

令和元年度 第4号
発行日 7月10日(水)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

部活動の意味

校長 神山 信次郎

豊玉二中には5つの運動部と7つの文化部があり、朝早くから放課後まで練習に励んでいます。運動部の多くは6月から7月にかけて3年生最後の大会が開催され、これから東京都総合体育大会・コンクール等への出場の部活もありますが、多くの部活動が活動を終了させました。どの部活もよく健闘し、今年も生徒のみなさんを表彰することができたことを嬉しく思います。

私たちが一般的であると思っている部活動は、他の国ではあまり例を見ない日本独自の学校文化だそうです。日本の部活動は明治時代に学校制度が発足した際、諸外国から招かれた教師たちが新しいスポーツや文化を日本国内に伝えていく手段として活動したことに由来しているそうです。現在、我々になじみの深い野球も、明治4年に来日した米国人ホーレス・ウィルソンが当時の東京開成予科で教え、その後全国的に広まって行ったということですし、サッカーや吹奏楽なども学校の部活動から日本国内に広まっていきました。

米プロバスケットボールNBAのドラフト会議が6月20日開かれ、八村塁(21)選手が、一巡目の全体9位ワシントン・ウィザーズから指名されたという報道がありました。推定年俸4億円の破格の契約金を提示されました。八村選手は小学校では野球をやっていましたが、中学入学後、バスケットボールの顧問の先生から、NBAで活躍する選手になれると誘われ、この道に進んだそうです。ドラフトで指名された時にその結果を報告したのは中学校の顧問の先生でした。自分が世界で活躍する選手になっても、その時の恩を忘れないと言葉に表したことは素晴らしいと思いました。部活動はプレーを磨くことも大切ですが、人間力を高めるひとつの大切な場所であると私は考えています。皆さんも部活動、クラブ活動、その他地域の活動、自分の趣味でも構いません、ぜひ学習とは違うもう一つの場所に参加して自分自身を磨いてほしいと思います。

私はいつも思っています。朝礼等で賞状やメダルを贈られる活動も素晴らしいと思いますが、3年間表彰されなくてもひたむきに努力を続けてきた姿勢にも拍手を送りたいと思います。活動を通して確実に皆さんは成長しました。

1, 2年生も今後続けていく部活動や、様々な活動が豊かな人生を約束する有意義な活動になることを期待します。



【夏季総体大会ブロック大会サッカー部】